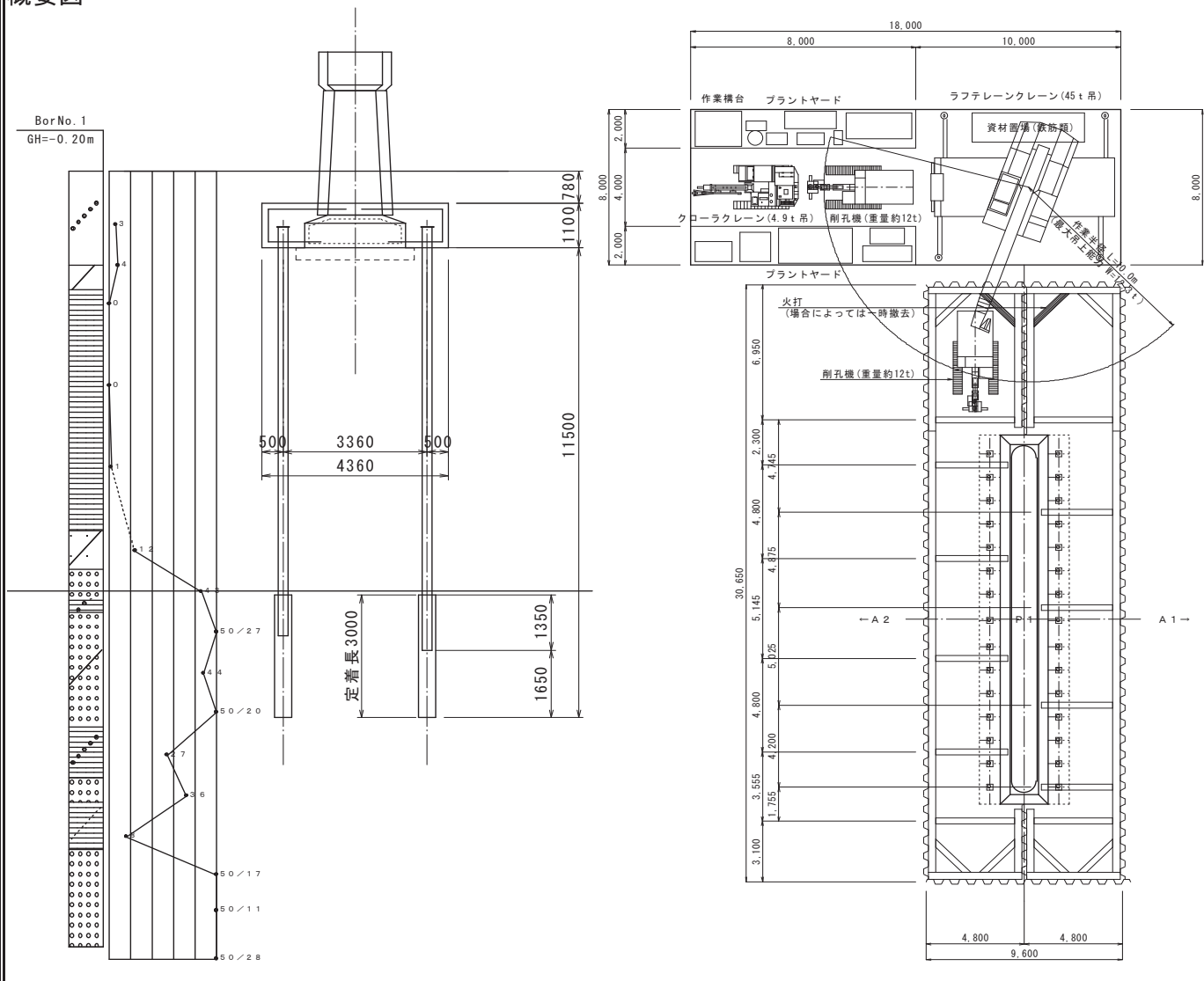


用途	既設橋脚基礎耐震補強
工事名	国道2号臥竜橋耐震補強外工事
工事場所	広島県三原市宮沖1丁目～港町2丁目
発注者	国土交通省 中国地方整備局 福山河川国道事務所 福山国道維持出張所
施工時期	平成18年12月～平成19年2月
杭形状	P1 直杭 12.0m×30本
杭延長	360.0m
鋼管仕様	API N-80 φ219.1×11.43t
標準鋼管長	1.5m
鉄筋仕様	SD345 D51
標準鉄筋長	2.0m
削孔方式	ロータリーパーカッション二重管方式
削孔機	クローラタイプ(MKD-106)ショートブーム
空頭制限	4.4m
上層地盤	砂質土・粘性土
定着地盤	礫質土

工事の特長

- ・本工事は、国道2号線に架かる臥竜橋において、橋梁を供用したまま橋脚基礎の耐震補強を実施した物件である。
- ・河川内橋脚を鋼矢板で締切り、その締切り内にクローラタイプの削孔機を45tクレーンで吊りおろし、幅3.3m、空頭4.4mの狭隘なスペースで、φ219.1mmのマイクロパイルを施工した。
- ・河川内に構築した8m×18mの仮設構台上にプラント設備、クレーン(45tラフター&4.9tクローラ)および材料置場を確保するとともに、資機材搬入車の配置スペースを確保するために、プラント配置を工夫して対応した。
- ・本物件で使用した削孔機(MKD106)は、通常、φ200mm程度のケーシング径までしか使用できない機械であるが、前周りを多少改造し、φ219.1mmのカップリング径(φ233.5mm)に対応可能とした。

概要図



施工状況写真



削孔機据付状況



削孔状況



削孔機搬入状況



削孔機矢板締切内投入



仮設構台全景



使用鋼管 (φ219.1 × 1.5m)



プラント



プラント